

□青森県平川市 庄司様

ふるさとには宮城県築館。子供の頃は折に触れ餅をたべさせてくれたおふくろ。いろんな味があった。その母も今はなく、餅を作ってくれる人もいない……。その頃の味、なつかしさを求めて来ました。今は津軽に住み、その土地柄のものをたくさん食べていますが、思い出すのはふるさと・母・餅……。明日は母の一周忌、墓参りをします。



□栃木県那須塩原市室賀様

母の実家で毎年お餅をついていました。小学校から直接母の実家に寄り、大豆や青のりが入った豆餅のつきたてを食べるのが大好きでした。お米の形がまだ残っているアツアツの搗きたて餅がとてもおいしかったです。我が家は家族

全員お餅が大好きで、一年中きらしません。お好み焼きに薄いお餅を入れたり、すき焼きにも最後にお餅を入れて食べるのが好きです。昨日は気仙沼で魚の幸をいただき、今日はお餅がとても美味しく感じられました。



□宮城県仙台市 工藤様

お餅といえば子供の頃のもちつき体験を思い出します。お兄さんが杵を持つて餅をついてくれるので、私は手を添えるだけでした。「自分で持てるのに……」と少し不満ではありましたが、とても楽しく、そして美味しくいただけただけで、いい思い出です。



□東京都葛飾区 塩田様

宮城県のおじいちゃんの家で

年に一度食べていたずんだもち！すぐたくさんの量を作る上にとても甘い！三つ以上は食べられなかったけれど、毎年チャレンジするのが楽しくて、とてもいい思い出です。



□つくば市 前沢様

ごちそうさまでした。おなかいっぱいです。おいしいのでつい食べてしまっ、餅好きです。正月しか食べませんが、最初は喜んで、だんだん飽きてきて、ごめんなさい、お餅さん……。お正月でした。



□仙台市 市橋様

子供の頃は戦時中から戦後でした。火鉢の五徳の上の網の切り餅が、プープープーフくらんでくると、食べ頃を計り心弾ませて、急いで醤油をつ

けて口に運んだ……。そんな素朴な飾り気のない、幼い頃の家庭的な食べ方を思い出します。



みな様、ありがとうございます。ございます。今月もたくさんのもちの思い出が集まりました。なんだかほっとする素朴な食べ物、お餅。末永く食べ繋いでいきたいものです。

もち処・和食処

〒021-0882

三彩縮ふじせい

岩手県一関市上大概街3-53

Tel 0191-23-4536 Fax 0191-23-4537

URL www.ujisei.co.jp